

第4期滝川市障がい福祉計画（素案） 概要版

I 計画の概要（P1～P2）

1. 計画策定の趣旨

障がい者などが自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要とされるサービス量の見込みを行い、サービス提供体制を計画的に確保していくために定めるもの。

2. 計画の体系及び位置付け

平成25年3月に策定した、「滝川市障がい者計画」の中で、生活支援等における3年間の実施計画と位置付けられるもの。

3. 計画の期間

第4期滝川市障がい福祉計画は、平成27年度から平成29年度までの3年間です。

II 障害者総合支援法の概要（P3～P4）

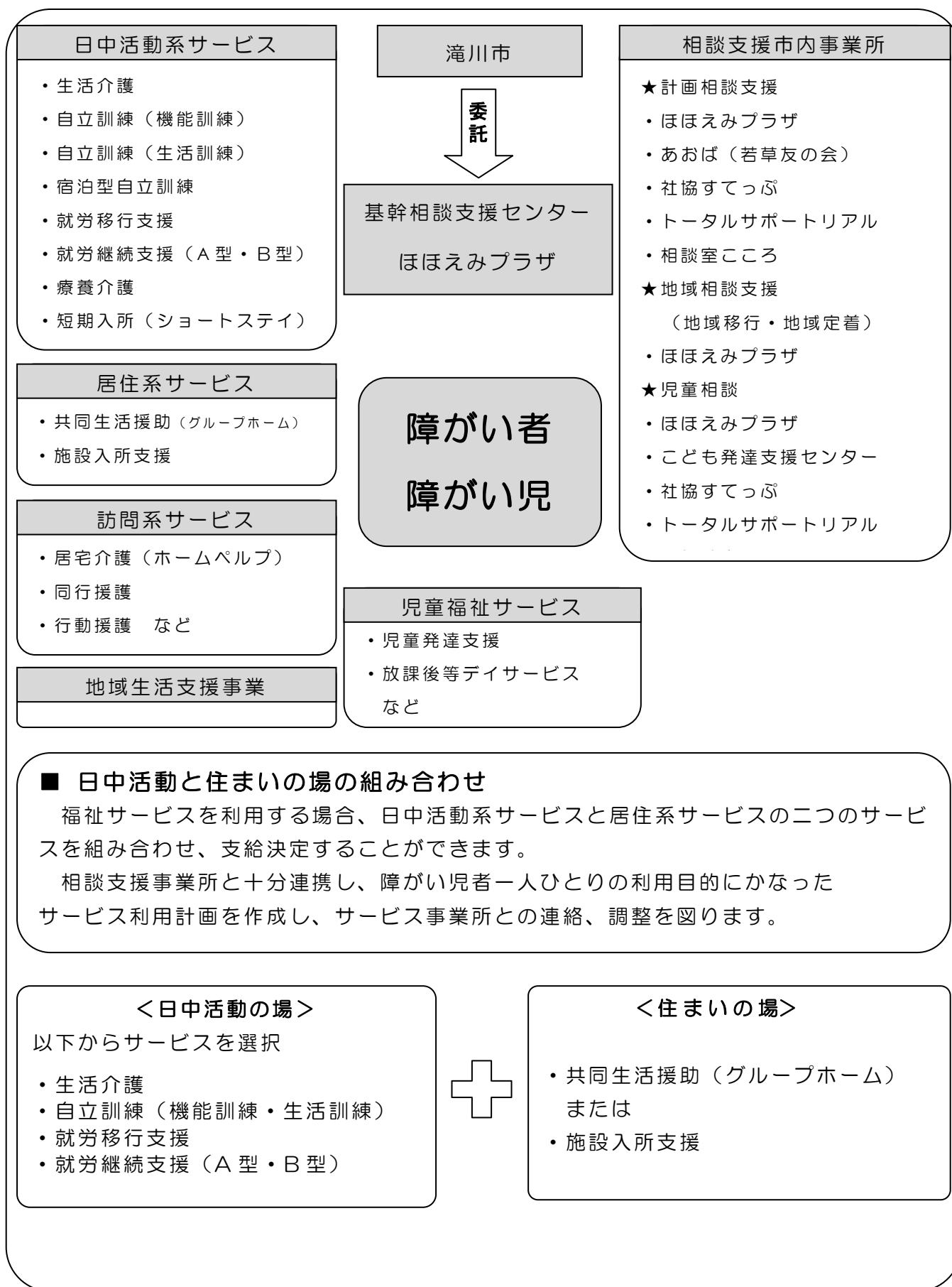
1. 平成25年度までの改正ポイント

- 高額障害福祉サービス等給付費の支給対象に補装具費が加わるなど、利用者負担の軽減対象が拡充
- 障がいの範囲に発達障がい及び130の指定された難病が追加
- グループホームを利用する低所得者を対象に、居住費用の助成が創設
- 視覚障がい者を対象に、移動等の支援を行う「同行援護」が創設
- 長期入院者等の地域移行支援や地域定着支援の個別給付化
- サービスを利用する障がい者全員にサービス等利用計画の作成が義務化
- 障がい児支援の強化
- 重症心身障がい者等の療養介護サービスの実施主体が北海道から市町村に変更

2. 平成26年度の改正ポイント

- 重度訪問介護の対象拡大
- 共同生活介護の共同生活援助（グループホーム）への一元化
- 地域移行支援の対象拡大
- 障害程度区分から障害支援区分への見直し

Ⅲ 障がい福祉サービス等の概要及び市内事業所の状況（P5～P15）



V 計画推進のための基本的事項（P25～P26）

数値目標については、国や北海道が掲げる指針や目標に沿いながら、第1期から第3期計画の実績や地域の障がい福祉サービス利用者の現状を踏まえることを基本とします。

（１）施設入所者の地域生活への移行

国では、地域生活への移行を推進する観点から、H25年度末の施設入所者数の12%以上を平成29年度末までに地域移行することを基本としています。滝川市に当てはめると9人の地域移行を図ることになります。

◆滝川市における施設入所者の地域に移行した人数

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26
人数	6	2	5	2	11	6	1	2	1

注）H18年度はH17年10月1日～H19年3月末まで、H26年度は10月末日時点

（２）入院中の精神障がい者の地域生活への移行

国では、精神障がい者の地域生活への移行を推進しています。滝川市においては、平成18年度から現在まで延15人の方が退院、地域移行したところです。

◆退院により地域に移行した精神障害者数

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26
人数	0	1	0	0	2	1	1	8	2

（３）地域移行者の居住の場の確保と訪問・日中系サービスの提供

これまでの障がい福祉サービスの提供体制を維持するとともに、社会福祉法人などの協力を得ながらサービス提供体制の充実を図ります。

（４）障がい者の就労促進（福祉施設から一般就労への移行）

国では福祉施設利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて、H29年度中に一般就労に移行するものをH24年度の一般就労への移行実績の2倍以上とすることを基本としています。滝川市に当てはめると、一般就労への移行人数は6人となります。

◆滝川市における一般就労移行の状況

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26
人数	2	3	1	0	1	3	3	2	2

（５）地域生活支援拠点等の整備

国では地域生活支援拠点等をH29年度末までに各市町村または圏域に1か所以上整備することを基本とする目標をたてました。H27年度中に地域生活支援拠点等整備推進モデル事業を実施、取り組み事例等の情報発信が行われる予定です。

Ⅵ 数値目標の設定（P27～P38）、Ⅶ サービスの見込み（P39～P43）

障がい福祉サービス量の見込みに当たっては、平成 27 年度から平成 29 年度までの 3 年間とします。

1. 訪問系サービス

（1）居宅介護

ここ数年、利用者数については、月 35 人前後で横ばい状態が続いておりましたが、相談支援事業所など通じて、今まで少なかった精神障がい者などの利用申し込みも多くなってきている状況です。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	31	25	25	27	32	36	35	36	42	43	44	45

（2）重度訪問介護 ～本市では利用実績はありません。

（3）同行援護

平成 23 年 10 月から新たなサービスとして開始され、視覚障がい者の外出時に同行し、移動に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスで、4 人の利用実績があります。

年度	実績		見込み			
	H24	25	26	27	28	29
人数	2	4	4	4	5	5

（4）行動援護

一人では行動のできない知的障がい者や精神障がい者を対象としたサービスで、ここ数年月 5 人の利用実態となっています。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	0	1	2	4	5	5	5	5	5	5	6	6

（5）重度障害者等包括支援～本市では利用実績はありません。

2. 日中活動系サービス

（1）生活介護

重症心身障害者を対象とした滝川通園事業所・たんぼぼの家の利用者が制度改正により平成 24 年度から生活介護サービスに変更され、また在宅の障がい者など利用者の増加が見られました。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	6	8	20	37	76	99	114	120	123	128	132	135

（2）療養介護

重症心身障害者施設の入所者について、制度改正に伴い平成 24 年度から実施機関が北海道から市に移行となり利用者の増加がありました。

年度	実績			見込み			
	H23	24	25	26	27	28	29
人数	1	10	10	9	10	10	10

（3）自立訓練（機能訓練）

身体障がい者の方が対象で、理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションと併せ生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行うサービスです。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1

(4) 自立訓練（生活訓練）

知的障がい者又は精神障がい者の方が対象で、生活能力の維持、向上を図るため必要な訓練、生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行うサービスです。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	0	0	4	7	6	4	4	13	18	18	18	18

(5) 宿泊型自立訓練

知的障がい者又は精神障がい者の方が対象で、地域移行に向けて一定期間、居住の場を提供して帰宅後における生活能力等の維持、向上のための訓練、生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行うサービスです。

年度	実績		見込み			
	H24	25	26	27	28	29
人数	1	2	2	2	2	2

(6) 就労移行支援

就労を希望する障がい者に一定の期間、生産活動その他の活動機会の提供を通じて、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練を行います。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	3	2	7	5	10	9	6	6	7	8	10	10

(7) 就労継続支援（A型）

65歳未満の障がい者に、就労に必要な知識、能力の向上を図るため、雇用契約に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労に向けた支援を行います。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	0	2	2	3	2	2	3	8	11	12	12	14

(8) 就労継続支援（B型）

通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者に、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うサービスです。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	1	4	10	44	67	82	118	124	130	150	155	160

(9) 短期入所

短期入所の利用もここ数年横ばい状態が続いております。光生舎虹の里などの福祉型と北海道療育園の医療型に分かれています。今後、在宅障がい者の利用が増加することが見込まれます。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	11	6	6	6	7	7	6	6	10	13	15	15

3. 居住系サービス

(1) 施設入所者数の実績

滝川市の施設入所者については、重度の障害または高齢化により今後の地域移行者数は限られてきており、入所者数についても、ほぼ横ばいの状態が続いており、今後、若干の増加が見込まれます。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	98	102	98	99	93	79	77	78	77	80	82	84

(2) グループホーム入居者の実績

施設入所からグループホームへの移行者はある程度進んだことから微増程度と思われ、養護学校卒業者や在宅通所者等で親が高齢化して同居が困難なケースによる入居等が考えられます。

年度	実績								見込み			
	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
人数	16	24	32	43	53	68	69	77	83	85	88	90

4. 計画相談支援・地域相談支援について

(1) 計画相談支援

年度	見込み		
	H27	28	29
人数	400	420	440

(2) 地域相談支援 ア) 地域移行支援～滝川市内ではほほえみプラザや砂川のぼろが相談支援事業所の指定を受け、病院及び関係機関と連携し取り組んでおります。

地域相談支援 イ) 地域定着支援～主に地域移行された精神障がい者等が、地域で生活できるよう支援を行うもので、ほほえみプラザや砂川のぼろが相談支援事業所の指定を受け、病院と連携し取り組んでおります。

年度	地域移行（見込）			地域定着（見込）		
	H27	28	29	H27	28	29
人数	3	3	3	3	3	3

5. 障がい児通所支援

(1) 児童発達支援

障がいのある未就学児童を対象に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を行っております。こども発達支援センターの利用が主なものとなっています。

年度	実績		見込み			
	H24	25	26	27	28	29
人数	52	60	57	63	65	70

(2) 医療型児童発達支援～児童発達支援のサービスのほか治療を提供するものです。

年度	実績		見込み			
	H24	25	26	27	28	29
人数	1	0	0	1	1	1

(3) 放課後等デイサービス

学校通学中の障害児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において居場所づくりを推進するサービスで、事業所の整備が図られる中、今後の利用者の増加が見込まれます。

年度	実績		見込み			
	H24	25	26	27	28	29
人数	41	39	43	45	48	50

(4) 保育所等訪問支援～市内では現在、実施しておりません。

(5) 障がい児童相談支援

障害児の保護者や特別支援学級、養護学校等十分連携を図り、障がい児個々の適切なサービス利用計画を作成します。

年度	見込み		
	H27	28	29
人数	120	125	130